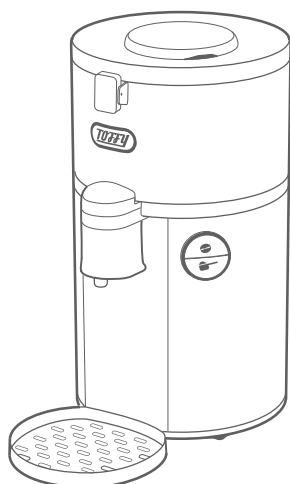


TOFFY 全自動ミル付コーヒーマーカー



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

目 次

安全上のご注意.....	2
各部の名称、付属品.....	4
はじめてご使用になる前に.....	5
コーヒーを淹れる.....	7
使い終わったら.....	10
お手入れ.....	11
故障かな？と思ったら.....	14
製品仕様.....	15
保証書／保証規定.....	16

安全上のご注意 必ずお読みください

必ずお守りください。(安全にお使いいただくために)

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。
 表示は、してはいけない「禁止」内容です。	
 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。	

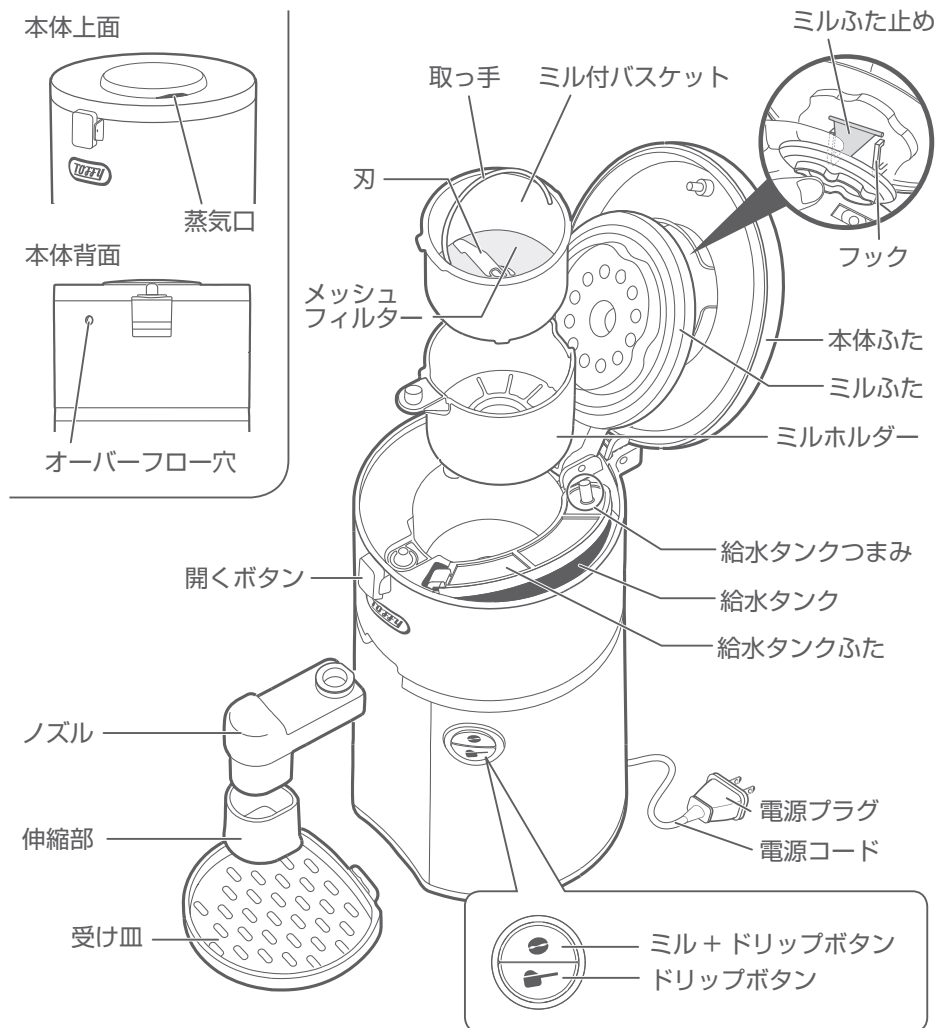
警告

 分解、修理や改造を絶対に行わないでください。 発熱・感電・けがの原因となります。	 ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電・けがの原因となります。
 子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。 感電・けが・やけどの原因となります。	 電源コードや電源プラグがいたんでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・火災の原因となります。 電源コードや電源プラグが破損した場合は、当社お客様ご相談窓口 (P.16 参照) にご連絡いただき、修理交換してください。
 本体を水につけたり、水をかけたりしてめらさないでください。 ショート・感電・火災の原因となります。	 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
 蒸気口に触ったり、手や顔を近づけないでください。 けが・やけどの原因となります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。	 電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むとショート・火災の原因となります。
 「ミル付バスケット」、「ミルホルダー」、「ミルふた」なしで使用しないでください。 けが・やけど・故障の原因となります。	 交流 100V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。 他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。
 落としたり、衝撃を加えたりしないでください。 感電・故障の原因となります。	 異常時 (こげ臭い、発煙など) は電源プラグを抜き、使用をしないでください。 火災・感電の原因となります。

⚠注意

⊘ 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。 火災・故障の原因となります。	⊘ ストープやガスコンロなど熱源・火気のそばでは使わないでください。 火災・変形・故障の原因となります。
⊘ 本製品は室内専用です。室外では使用しないでください。 火災・故障の原因となります。	⊘ 空だきをしないでください。 故障・火災の原因となります。
⊘ 毛足の長い絨毯など不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わないでください。 故障・やけどの原因となります。	⊘ 満水表示「MAX」220ml以上水を入れしないでください。 故障・やけどの原因となります。
⊘ 水以外のものを入れたり、沸かしたりしないでください。 牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因となります。	❗ 持ち運びやお手入れ、保管するときは本体が冷めてから行ってください。 火災・やけどの原因となります。
⊘ 使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れないでください。 高温のため、やけどの原因となります。	❗ ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。 本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。
⊘ 使用中は本体から離れないでください。 火災の原因となります。	
⊘ 壁や家具の近くでは使わないでください。 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。	❗ 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。
⊘ 本体を使用中に移動させないでください。 やけど・けがの原因となります。	❗ 続けてコーヒーをドリップする場合は、モード切り替えスイッチを切にし、5分以上休ませた後で再びドリップしてください。 本体が熱いうちに給水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出して、やけどの原因となります。
⊘ 水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わないでください。 ショート・感電・故障の原因となります。	

各部の名称



付属品

次の付属品がそろっているかご確認ください。

- 受け皿 1 個
- 計量スプーン 1 本
- 清掃ブラシ 1 本

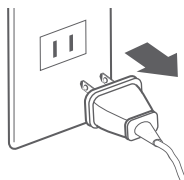
はじめてご使用になる前に

■ 本体内部の洗浄方法

本商品をはじめてお使いになるときは、下記の洗浄方法で本体内部を洗浄してください。
長期間ご使用にならなかった場合も同様のお手入れをしてください。

1. 電源 OFF を確認して設置してください

電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認し、本体に受け皿を設置します。



2. 本体ふたを開けてください

開くボタンを押し込んで、本体ふたを開けます。



3. 給水タンクに水を入れてください

- ①給水タンクふたを開けます。
- ②計量カップなどで水を MAX 線まで（最大 220ml）入れます。
- ③給水後は、必ず給水タンクふたを閉めてください。



注意

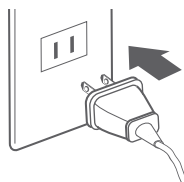
- ・蛇口から直接給水タンクに水を入れないでください。
- ・給水タンクに水を入れすぎないでください。
- ・給水タンクに水を入れすぎると本体背面にあるオーバーフロー穴から水が流出します。

4. 電源プラグをコンセントに差し込んでください



注意

- ぬれた手で電源プラグを触らないでください。
- 電源プラグは必ずコンセントに差し込んでください。
- 感電の原因となります。



5. カップを用意してください

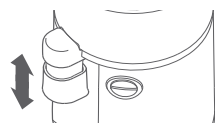
受け皿の上に耐熱のカップを置きます。

ご使用になるカップの高さに合わせてノズルの伸縮部を上下にスライドして調整してください。



注意

- ドリップ容量に応じたカップをご使用ください。（本体最大容量 220ml）



6. 本体ふたを閉めてください

カチッと音がするまで本体ふたを閉めると、ブザーが 1 回鳴り緑ランプが 1 回点灯します。

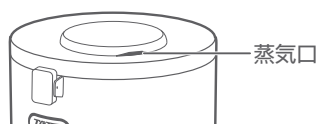
7. ミル+ドリップボタンを押してください

ミル（刃）が 20 秒間回転し、ドリップ（洗浄）を開始します。

8. ドリップが終了したら、カップを取ってください

⚠ 注意

- ・ドリップ終了後、本体内部のヒーター管の水を蒸発させるため、本体ふたの蒸気口から高温の蒸気が出ます。本体ふたの上に手や物を絶対に置かないでください。やけどやけがの原因となります。



蒸発が終了すると、緑ランプが消灯します。その後、ヒーター部の粗熱を取るための待機状態（約 5 分）となります（待機時間は使用環境により異なります）。待機状態中はボタンを押しても動作しません。待機状態が終わるとブザーが 1 回鳴り、緑ランプが 1 回点灯します。

- ・湯沸かし中、ドリップ中、ドリップ後は本体、本体ふた、ノズルが高温になりますので、絶対に触らないでください。やけど・けがの原因となります。
- ・ドリップ終了直後に水タンクに水を入れると、蒸気や熱湯が噴出してやけど・けがの原因となりますので絶対に行わないでください。

メモ

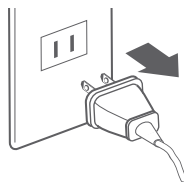
樹脂などのにおいが気になる場合は、同じ手順で洗浄をおこなってください。繰り返し洗浄を行う場合は、本体を冷まし（約 5 分）てから行ってください。

9. 電源プラグを抜いてください

コンセントから電源プラグを抜きます。

⚠ 注意

ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。



コーヒーを淹れる

■ 付属計量スプーンの分量目安

計量スプーン 1 杯の分量

コーヒー豆：約 8g
コーヒー粉：約 8g（すり切り 1 杯）

■ コーヒー豆・コーヒー粉、水の量の目安

杯数 (計量スプーン)	コーヒー 豆の量	コーヒー 粉の量	水の量	出来上がり	所要時間
1 杯	約 8g	約 8g	約 150ml	約 120ml	約 3 分
山盛り 1 杯	約 12g	約 12g	約 180ml	約 150ml	約 3.5 分
2 杯	約 16g	約 16g	220ml	約 180ml	約 4 分

- ※ 水がコーヒー粉に吸収されるため、コーヒーの出来上がり量は多少減少します。
- ※ 所要時間は「ミル+ドリップ」にかかる目安です。（コーヒー粉からの場合は約 20 秒短縮されます）
- ※ コーヒー豆・コーヒー粉の量は好みにより加減してください。多く入れすぎると、コーヒー豆が挽ききれずにコーヒーが薄くなることがあります。
- ※ コーヒー豆の量を増やしすぎると、ミルが正常に作動しないおそれがあります。
- ※ コーヒー豆やミル付バスケット内に水気があると、ミルが正常に動作せず、コーヒー豆が挽ききれないことがあります。
- ※ コーヒー豆は焙煎度合いによって重さが変わるため、重量で計ってください。
- ※ 本製品で使用するコーヒー豆・コーヒー粉の最大容量は約 16 グラムです。

メモ

- ・本商品ではコーヒー粉を使用の際は、粗挽き・中挽きの粉を使用してください。細挽きのコーヒー粉を使用すると、メッシュフィルターが詰まり本体内であふれたり、コーヒー粉が混入する原因となります。
- ・はじめてご使用になるときや、長期間使用していなかった場合は本体内部の洗浄を行ってください。（⇒ p5 参照）

1. 電源 OFF を確認して設置してください

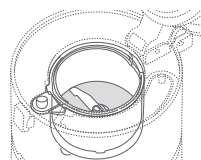
電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認し、本体に受け皿を設置します。



2. 本体ふたを開けてください

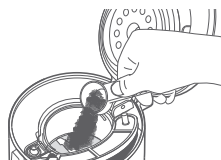
開くボタンを押し込んで本体ふたを開けます。
ミルホルダーにミル付バスケットがセットされていることを必ず確認してください。

横にスライドさせて
取り付けます



3. コーヒー豆またはコーヒー粉を入れてください

ミル付バスケットにコーヒー豆または粉を入れてください。「■ コーヒー豆・コーヒー粉、水の量の目安」(⇒ p7 参照)を参考にして適量を入れてください。

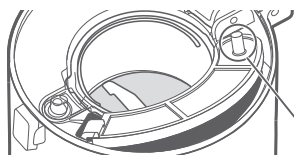


⚠ 注意

- ・カッターの刃には触れないでください。けがの原因となります。
- ・コーヒー豆やコーヒー粉をミル付バスケットに入れるときは、出来るだけならすように入れ、片側に寄らないようにしてください。コーヒー豆やコーヒー粉が片側に寄っていると、豆の挽きが不均一になったり、ドリップしたコーヒーの風味が損なわれる原因となります。

4. 給水タンクに水を入れてください

- ①給水タンクふたを開けます。
- ②計量カップなどで抽出したいコーヒー量(最大 220ml)の水を入れます。(抽出量は投入したコーヒー豆やコーヒー粉が水を吸うため注水量より少なくなります。)
(給水タンク内のオーバーフロー穴付近に、「MAX」と刻印がされているので、それ以上は入れないでください。)
- ③給水後は、必ず給水タンクふたを閉めてください。



給水タンクつまみ



オーバーフロー穴

給水タンク内 MAX 線

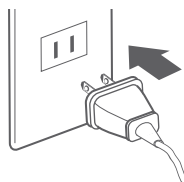
⚠ 注意

給水タンクに水を入れすぎないでください。
給水タンクに水を入れすぎると本体背面にあるオーバーフロー穴から水が流出します。

5. 電源プラグをコンセントに差し込んでください

⚠ 注意

ぬれた手で電源プラグを触らないでください。
電源プラグは必ずコンセントに差し込んでください。
感電の原因となります。

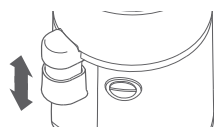


6. カップを用意してください

受け皿の上に耐熱のカップを置きます。
ご使用になるカップの高さに合わせてノズルの伸縮部を上下にスライドして調整してください。

⚠ 注意

ドリップ容量に応じたカップをご使用ください。(本体最大容量 220ml)



7. 本体ふたを閉めてください

カチッと音がするまで本体ふたを閉めると、ブザーが 1 回鳴り緑ランプが 1 回点灯します。

8. コーヒーを淹れてください

ミル + ドリップボタン

● コーヒー豆の場合

- ①ミル + ドリップボタンを 1 回押します。(ブザー 1 回)
- ②ミルが約 20 秒間作動します。(緑ランプ約 20 秒点滅)
- ③ミル (刃) は自動的に止まり、ドリップが開始されます。(ブザー 2 回、緑ランプ点灯)



メモ

- ・動作中にボタンを押すと一時停止します (ランプが赤緑点滅)。10 秒以内にもう 1 度押すと再開します。10 秒を過ぎると「ミル + ドリップ動作」が強制終了します。
- ・「ミル + ドリップ動作」中は、ドリップボタンを操作できません。

● コーヒー粉の場合

- ①ドリップボタンを 1 回押します。(ブザー 2 回、緑ランプ点灯)
- ②自動的にドリップが開始されます。



ドリップボタン

メモ

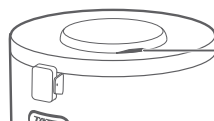
- ・動作中にボタンを押すと一時停止します (ランプが赤緑点滅)。10 秒以内にもう 1 度押すと再開します。10 秒を過ぎると「ドリップ動作」が強制終了します。
- ・「ドリップ動作」中は、ミル + ドリップボタンを操作できません。

9. ドリップが終了したら、カップを取ってください



注意

- ・ドリップ終了後、本体内部のヒーター管の水を蒸発させるため、本体ふたの蒸気口から高温の蒸気が出ます。本体ふたの上に手や物を絶対に置かないでください。やけどやけがの原因となります。



蒸気口

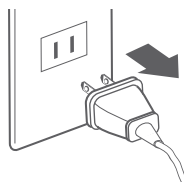
- 蒸発が終了すると、緑ランプが消灯します。その後、ヒーター部の粗熱を取るための待機状態 (約 5 分) となります (待機時間は使用環境により異なります)。待機状態中はボタンを押しても動作しません。待機状態が終わるとブザーが 1 回鳴り、緑ランプが 1 回点灯します。
- ・湯沸かし中、ドリップ中、ドリップ後は本体、本体ふた、ノズルが高温になりますので、絶対に触らないでください。やけど・けがの原因となります。
- ・ドリップ終了直後に水タンクに水を入れると、蒸気や熱湯が噴出してやけど・けがの原因となりますので絶対に行わないでください。

使い終わったら

1. 電源プラグを抜いてください

コンセントから電源プラグを抜きます。

⚠ 注意 めれた手で電源プラグを触らない
感電の原因となります。



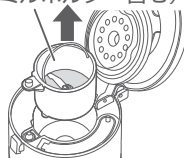
2. 本体が十分に冷めてから、ドリップ済みのコーヒー粉を捨ててください

本体ふたの開くボタンを押し込んで開けます。

①本体ふたを開けます。

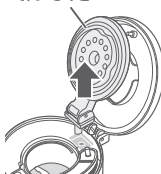
②ミル付バスケット（ミルホルダー含む）、ミルふた、ノズル、受け皿を取り外します。

ミル付バスケット
（ミルホルダー含む）



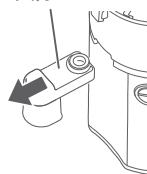
取っ手を持って
上に引き上げます

ミルふた



上に引き抜きます

ノズル



横に引き抜きます

受け皿



横にスライド
させます

③ミル付バスケット内のコーヒー粉は水を切って廃棄します。

⚠ 注意 ドリップ済みのコーヒー粉はミル付バスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。そのまま放置すると、カビや雑菌が繁殖する原因となります。

3. お手入れをしてください

ミル付バスケット（ミルホルダー含む）、ミルふた、ノズル、受け皿は、本体をお使いになるたびに、必ず洗ってください。

各部品の洗浄方法について「お手入れ」を参照してください。お手入れ本体が冷めたことを確認してからお手入れをしてください。（⇒p11 参照）

⚠ 注意 お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因となります。

■ 製品の保管

上記のお手入れを行った後、本体、ミル付バスケット、ミルホルダー、ミルふた、ノズルの内部が完全に乾燥してから保管してください。

⚠ 注意

- ・長期間で使用にならない場合は、お手入れをした後、完全に乾燥させてから、乾いた場所に保管してください。
- ・長期間保管した後、再使用する際には、p5の「本体内部の洗浄方法」を行ってください。

お手入れ

本製品は、ご使用のたびに必ずお手入れを行ってください。

お手入れをせずに本製品を使い続けたり、そのままの状態で保管したりすると、本体の故障や、雑菌・カビが繁殖する原因となります。

⚠ 注意

- ・お手入れを開始する前に、電源プラグがコンセントから抜けていることを、必ずご確認ください。
- ・本体などが高温になっていないか必ずご確認ください。
- ・電源コードが損傷していないかを定期的に点検してください。
- ・使用後はすぐにお手入れを行なってください。
- ・コーヒー粉が酸化し、次に使用するときにコーヒーの風味を損なう原因となります。
- ・食器洗い機・食器乾燥機は使用しないでください。
- ・破損・変形の原因となります。
- ・シンナー、ベンジン、アルコール、みがき粉などは使用しないでください。
- ・変色や故障の原因となります。
- ・ぬれたまま本体に取り付けないでください。
- ・乾燥させずに使用すると故障の原因となります。

メモ

ドリップ時間が長くなった場合

購入時にくらべてドリップ時間が長く感じた場合は本体内部に水あかが付着し、水の流れが悪くなっている可能性があります。

以下の手順で水あかを洗浄してください。

- ① コップ 1 杯 (150ml) の水の中に小さじ 0.5 杯 (約 1.5 ～ 2g) のクエン酸を加えてよく混ぜます。
- ② クエン酸入りの水を給水タンクに入れます。
- ③ p5 の手順でドリップ (洗浄) を行います。
- ④ ドリップ終了後、水のみで 2 ～ 3 回ドリップし、クエン酸を流してください。

ドリップ時間が改善されない場合は、クエン酸水で数回ドリップしてください。

※繰り返しドリップする際は、本体を冷ましてから行ってください。

■ 本体

水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で汚れをふき取ってください。



警告

本体・電源コード・電源プラグには水をかけたり、水につけたりしないでください。故障や感電の原因となります。

■ ノズル、ミル付バスケット、ミルホルダー、ミルふた

- ① コーヒー粉を捨てたあと、分離し残っているコーヒー粉を付属のお手入れブラシを使って、水を流しながらよく洗い流してください。(各部の分離方法⇒ p12 ～ 13 参照)
- ② 水気をふき取り、十分に乾燥してください。

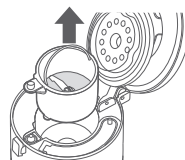


注意

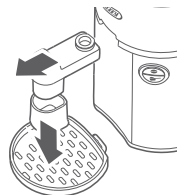
カッターの刃には触れないでください。けがの原因となります。

■ ノズルと伸縮部の分離

1. ミル付バスケット（ミルホルダー含む）を引き上げてください



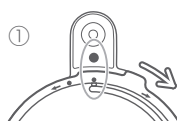
2. ノズルを本体から引き抜き、伸縮部を取り外してください



■ ミルホルダーとミル付バスケットの分離

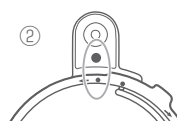
1. ミルホルダーとミル付バスケットのジョイントを解除してください

- ① 取っ手を持って、ミル付バスケットを時計回りにまわします。
- ② ミル付バスケットの左側の●印をミルホルダーの●印に合わせます。



①

取り外し
不可能な状態



②

取り外し
可能な状態

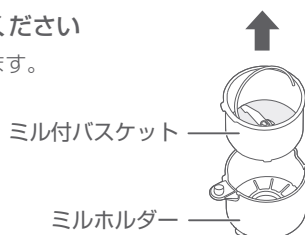


注意

- ・ミル付バスケットとミルホルダーの接着面にパッキンを使用しているため、取り付けが固めになっています。
- ・分離の際、カッターの刃に触れない様に十分ご注意ください。

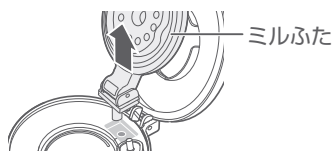
2. ミルホルダーからミル付バスケットを引き抜いてください

右図の様にミルホルダーからミル付ホルダーを引き抜きます。



■ ミルふたとミルふたカバーの分離

1. ミルふたを本体から引き抜いてください

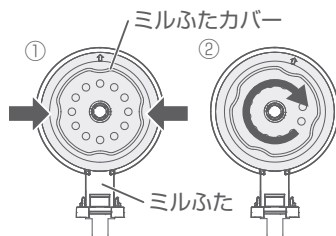


2. 本体ふた背面のフックからミルふた止めを外してください



3. ミルふたからミルふたカバーを外してください

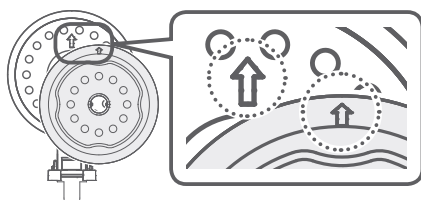
- ①ミルふたカバーのサイドのくぼみを持ちます。
- ②回して取り外します。



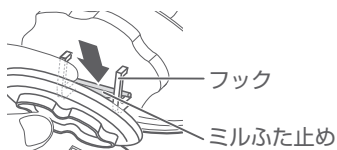
● ミルふたとミルふたカバーの取り付け

1. ミルふたカバーを取り付けてください

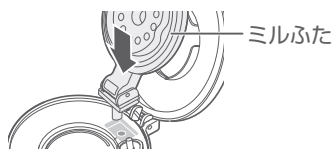
↑印を合わせてミルふたに押し込んでめます。裏表を間違えないようにしてください。



2. 本体ふた背面のフックにミルふた止めを引っ掛けます



3. ミルふたを本体に取り付けてください



故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼になる前に、下記のことをご確認ください。

こんなとき	原因	対処
「ミル+ドリップボタン」 「ドリップボタン」を 押しても動かない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグとコンセントの接続をご確認ください。
	本体ふたが閉まっていますか？	カチッと音がするまで閉めてください。
	使用直後で粗熱がたまっていませんか？	粗熱が取れるまでお待ちいただいてから（約5分）、再度ボタンを押してください。
ドリップできない	給水タンクに水が入っていますか？	ドリップ容量に応じた水を給水タンクに入れてください。 (⇒ p7 参照)
	コーヒー豆、コーヒー粉は入っていますか？	ドリップ容量に応じたコーヒー豆、コーヒー粉を入れてください。 (⇒ p7 参照)
ドリップ時間が長い	本体内部に水あかなどが付着していませんか？	水あかなどのよごれが付着すると、水の流れが悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。 (⇒ p11 参照)
水が漏れる	給水タンクに水を入れ過ぎていませんか？	水は MAX 線 (220ml) 以上入れないでください。 (⇒ p8 参照)
	ミルふた、ミル付バスケット、ミルホルダーは正しくセットしていますか？	ミルふた、ミル付バスケット、ミルホルダーが正しくセットされているかご確認ください。
	コーヒー豆、コーヒー粉を入れすぎていませんか？	コーヒー豆・コーヒー粉を入れすぎると抽出できません。入れることのできるコーヒー豆・コーヒー粉の最大容量は約 16g です。(⇒ p7 参照)
	細引きのコーヒー粉を使用していませんか？	粗挽き・中挽きのコーヒー粉を使用してください。

製品仕様

品名	Toffy 全自動ミル付コーヒーマーカー
品番	K-CM2
本体寸法	約133(W)×238(H)×170(D) mm (受け皿含まず)
抽出方式	ドリップ式
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	400W
待機電力	0.5W
水タンク容量	220ml
重量	約1,150g
電源コード長	約0.8m
付属品	受け皿(1個)、計量スプーン(1本) 清掃ブラシ(1本) ユーザーズガイド(保証書含む)

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。アフターサービスも対応できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country)

保証書

品名: Toffy 全自動ミル付コーヒーマーカー K-CM2 保証期間: 本体お買い上げ日より 1 年
お買い上げ日: 年 月 日

お客様:
お名前
ご住所
電話番号

販売店名:

販売店様へお願い 保証書の空欄部分に販売店名、お買い上げ年月日をご記入くださいますようお願いいたします。

保証規定

1. ユーザーズガイドの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご連絡ください。当社が無償にて修理いたします。
2. ご転居やご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、本書記載のお客様ご相談窓口へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤りや、お客様による修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷
(ハ) 火災・地震・水害・落雪その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書の提示が無い場合
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
(ト) 本体および本体同梱付属品の消耗・摩耗・損傷・紛失
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理のお約束をするものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜アフターサービスについて＞

■保証書: 保証書は、販売店名・お買い上げ年月日などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。また、保証規定の内容をよくご覧の上、大切に保管してください。

■修理に出されるときは: 保証期間中は、保証書に記載されている項目について、無償で修理いたします。ただし、本書に記載の、安全および使用に関する注意事項を無視した上での故障や破損、分解・改造を加えた場合などは、有償となる場合があります。また、保証期間を過ぎた場合も有償での修理となります。修理内容は修理伝票等で代替する場合があります。

■廃棄について: 本製品および梱包材の廃棄方法については、各自治体の指示に従って行ってください。

■お問い合わせ: アフターサービスについてご不明な点やご相談お困りのときは、お買い上げいただいた販売店またはお客様ご相談窓口までお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

お客様ご相談窓口 0570-024-389 (※ IP 電話など一部の電話からのご利用はできません。)
受付時間 10:00 ~ 18:00 (土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

●個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。